



包括支援センターだより

【問合せ先】桂川町地域包括支援センター（桂川町総合福祉センター内） ☎65・4401

認知症を知ろう

「最近、忘れっぽくなった」「なかなか思い出せない」など、桂川町地域包括支援センターには、「物忘れ」に関する相談が寄せられています。また、「認知症になったらどうしよう」と老後の不安を感じる方もおられます。

認知症になると、脳の働きが悪くなることで、今までできていたことができなくなりますが、周りの方が認知症について正しい知識を持ち、助け合うことができれば、認知症の方も家族も穏やかに暮らすことができます。そこで、桂川町では、認知症の症状や接し方などを学ぶ講座（認知症サポーター養成講座）を開催しています。



認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターとは、特別なことをする方ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたずに、認知症の方や家族を温かく見守る応援者です。自分自身の問題として理解し、友人や家族に学んだ知識を伝えたり、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

町内会や企業、学校など様々な団体で受講することができますので、関心のある方は、桂川町地域包括支援センター（65-4401）までお問い合わせください。

私たちも認知症サポーターです！



▲▶オレンジリングは認知症サポーターの証です。



平成30年12月26日、高校3年生の小田玲菜さんと作田弥恵さんが認知症サポーター養成講座を受講しました。テキストやDVDをみながら、真剣に学び、「もの忘れと認知症の記憶障害が違うことを知り、とても勉強になりました」と話していました。若いサポーターのこれからの活躍が楽しみです。

